



OLD NEW TOWN

# 夢京橋

キャッスルロード



彦根市本町は、慶長8年(1603年)彦根城の築城とともに城下町が建設されたおり、町人の居住区の町割を本町から割り始められたという歴史に由緒ある町であり、江戸時代に建てられた町家は、往時の風情を残し、落ち着いた静かなたたずまいや商家に出会える町でした。しかし、この町を南北に縦断する都市計画道路本町線を築城時の6mの道幅で、今日の交通事情に対応することができず、昭和60年度から街路整備を実施することになりました。彦根市としては、この通りの風情を壊すことなく伝統的なまちなみ再生により、生活環境の活性化を図ることを沿道住民に提案いたしました。

このまちづくりの特徴は、住民主導で進め、彦根市はまちづくりのアドバイザーとまちなみ修景に対し助成する役割をもち、歴史、伝統を今に生かし、その建物の形態と色彩を新しい時代にマッチした城下町づくりを目指し、「古い良さを生かした新しい活気のみなざるまち」を合言葉に住民ぐるみの取り組みがスタートしました。その間、住民は、さまざまな角度からみながら知恵を出す作業を2年にわたって続け、地区計画の内容や市が定める建築物の制限に関する条例にいたるまで住民と行政が話し合いを重ねたものです。この結果、私どもの地域は住民自らの知恵と力で創り、次の世代へ引き継ぐという共通理解が得られました。彦根市では、都市景観行政を重要な施策として推進するなか、本町はその先導的役割を果たす地区として位置づけることとしました。

彦根市本町地区まちなみ景観再生事業の経緯

キャッスルロードがでぎるまで

## 夢京橋

ひこにゃん

ひこにゃん  
彦根市許諾(無償)  
No.C1620038

ひこにゃん

ひこにゃん

ひこにゃん

ひこにゃん

ひこにゃん

ひこにゃん



平成19年に開催した「国宝・彦根城築城400年祭」のキャラクターとして誕生した「ひこにゃん」。彦根藩二代藩主・井伊直孝公をお寺の門前で手招きして、雷雨から救ったと伝えられる「招き猫」と井伊家の

のシンボルともいえる「赤備え」の兜(かぶと)を合体させたキャラクターです。白いお肌のメタボなボディと愛嬌のあるお顔、可愛い仕草などから「モチ」という愛称で親しまれています。



悲劇の武将  
**木村重成考**  
慶長20年5月6日、若江の戦い。  
井伊直孝隊の前に立ちはだかった木村重成隊。  
激しい攻防の結果やいかに……

## KIMURA SHIGENARI PROJECT

### 家康も感嘆した若き侍「木村重成」と彦根夢京橋

徳川方で戦うのか、豊臣家に忠誠を尽くすのか…。木村長門守重成という美しく涼やかな青年が、歴史の舞台上で注目を集めるのは大坂冬の陣、夏の陣である。豊臣秀頼とは主従というより乳兄弟の関係にある。忠誠心が厚く勇気の使いどころを知る武士であり、大坂城の女官が皆、振り返るほど美男であったという…。慶長19年(1614)大坂冬の陣で一番の激戦が「鳴野・今福の戦い」である。この時、木村重成21才。初陣だったが、群がる徳川勢を蹴散らし、堂々と帰城。そして、

一旦和睦となり、重成は徳川家康の許へ誓詞血判を取りに行く大役を任せられた。「重成は、ニセの血判を見破り、家康を大喝。家康は冷や汗を流した」話は語りぐさとなった。明けて慶長20年(1615)夏の陣。老練な家康が大坂城全ての堀を埋めてしまったため大坂方は城から出て戦わねばならなかった。重成も大将として出陣が決まるが、数日の間、ほとんど食事をとらぬ。新婚の妻が「死が恐ろしいからでしょうか」と問うと、ニッコリ笑い、「敵に首を獲られた時に五臓六腑

から食したものが出てくるような無様なことだけはないように心懸けているのだ」と答えた。5月6日、河内若江へ出陣した重成は見事な働きをしたが、遂に討たれることとなる。「若江の戦い」、重成23歳。早朝から始まった戦いは午後に至り木村重成隊は井伊直孝隊と対峙する。凄惨な激闘の中、傷を負い疲労しながらも重成は一騎で「家康を討つ」と進んでいった。井伊家の安藤長三郎17才が名乗りをあげた時、重成は「わが首を獲って高名せよ」と言った。異なる話も伝わる。井伊家庵原助右衛門との一騎討に敗れ、安藤長三郎が首をもらい受けた…。

そして、家康の前で首実検。しかし、兜を被ったままである。よく見ると顎の下で結んだ紐が堅結びになっている。家康は「二度と兜を脱がぬ…死を覚悟していたか」と自ら紐を切り、兜を取ると、馥郁たる香りが…。重成は兜に名香を焚きしめていたのである。流石の家康も涙を流し「これぞ大坂方の花も実もある武将の鑑じゃ」と言わしめた…。

安藤家は彦根市本町にある宗安寺の檀家であり、重成公の菩提を弔うために五輪の塔を建てて供養し、今に、「木村長門重成公首塚」として遺っている。



### 感染症対策にご協力をお願いします。

彦根夢京橋商店街および商店街加盟店では新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。またお客様にもマスク着用のご協力をお願いしております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



夢京橋  
イルミネーション  
実施中!!

夢京橋キャッスルロードは夜も楽しい。

近江肉ならではの繊細で芳醇な味わいをワインと共に心算で心ゆくまで。

滋賀県彦根市本町 1-1-26 (夢京橋キャッスルロード・彦根 GYUSEUM 2階)  
TEL 0749-47-3133 FAX 0749-49-3129  
営業時間 / AM 11:30~PM 10:00 (オーダーストップ / PM8:30) ※14:30~17:00 は準備中  
定休日 / 毎週水曜日

近江牛肉をはじめ自家製ハムやソーセージ、牛丼弁当やお惣菜などを販売しております。

# 千成亭

夢京橋店

滋賀県彦根市本町 1-1-26 (夢京橋キャッスルロード・彦根 GYUSEUM 1階)  
TEL 0749-22-1808 FAX 0749-22-1873  
営業時間 / AM 10:00~PM 7:00  
定休日 / 毎週水曜日

OLD NEW TOWN

# 夢京橋

キャッスルロード

和蠟燭・薫物  
キャンドル クラフト  
彦根まちなか博物館  
招福本舗

彦根市本町2-1-3  
tel. 0749-27-5501  
<http://akarikan.co.jp>

近江肉は中仙道を江戸へ

献上品として名を馳せた近江肉の老舗としてその名に恥じない品質の肉料理をお出ししております。「旨さ」と「やわらかさ」と「きめ細やかさ」の三拍子揃った、子どもを産んでいない未経産のめす牛を主に取り扱っております。

千成亭  
ホームページ <http://www.senaritei.jp>

白壁と黒格子に統一された風情ある街並みはまるで江戸時代の城下町。和・洋、地元ならではの商品が揃う店が軒を並べ、古くて新しい時代の薫り漂う「OLD NEW TOWN」です。

近江肉

# 伽羅

彦根市本町2丁目1番6号  
電話 0749-27-5025  
営業時間 午前11時~午後2時30分  
午後5時~午後8時  
定休日 毎週火曜日

彦根の伝統工芸、和蠟燭を中心にあかりの商品とお香の販売・博物館  
夢京橋あかり館/招福本舗 AED  
☎0749-27-5501

彦根城

たこやき 祥福 たこ吉  
☎0749-27-6828

和雑貨、和小物 からんころん(1F)  
☎0749-27-2455

珈琲屋 gufo(2F)  
☎0749-30-9061

彦根城下 和結ノ間(2F)  
☎070-8997-0385

川瀬新聞輔  
☎0749-22-0171

近江牛肉専門店  
千成亭夢京橋店  
☎0749-22-1808

国産炭火焼うなぎ専門店

# 源内

GEN-NAI

彦根市本町2丁目1番6号  
電話 0749-27-5025  
営業時間 午前11時~午後2時30分  
午後5時~午後8時  
定休日 毎週火曜日

日本初置き畳専門店が彦根市にオープン!

タタッと敷いてすぐ和空間が出来上がる置き畳Tatatte。自由に組み合わせできるフローリングベースがあるから、実際に敷いてお気に入りのTatatteを選べるのが魅力。その他 壁一面の畳縁や畳を使った和小物が並ぶ店内は日本の遊び心で溢れています。

置き畳専門店  
Tatatte

TEL.0749-23-5911  
〒522-0064  
滋賀県彦根市本町2丁目3-3  
営業時間/10:00~18:00

全54種類

NET SHOP ▶ Tatatte 検索

小あゆ煮・あゆの姿煮・鮎寿し

# あゆの店 きむら

ホームページ <http://www.ayukimura.co.jp>

京橋店 / 〒522-0064 滋賀県彦根市本町2-1-5  
お食事タイム (11:00~14:30)

本店 / 〒522-0086 滋賀県彦根市後三条町725  
TEL 0749-22-1775(代)  
FAX 0749-26-3019  
☎ 0120-80-1775

チョッパーボード

# とんとん

近江牛ステーキがリーズナブルに食べられるお店

☎0749-23-0359 平 日 11:30~16:00  
彦根市本町2-2-47 土・日・祝 11:30~20:30  
月曜定休(祝日の場合は翌日)

菓子販売 菓心おおすが 夢京橋店  
☎0749-24-1128

レストラン チョッパーボード とんとん(2F)  
☎0749-23-0359

飲食 麺匠 ちやかぼん  
☎0749-27-2941

薬局 吉坂薬局  
☎0749-22-1032

鶏専門料理店 比内地鶏 ほっこりや  
☎0749-21-3567

和菓子販売 いと重菓舗 本店  
☎0749-22-6003

洋菓子 三中井  
☎0749-22-5953/※不定休

プライダルハウス サムシング・フォー  
☎0749-22-3434/

うどん・そば もんぜんや  
☎0749-24-2297

個室居酒屋 近江や 蔵(1F)  
☎0749-27-4484

比内地鶏 ほっこりや

# 親子丼

比内地鶏

1,380円 税別

☎0749-21-3567  
営業時間 11:30~14:30 / 17:30~22:00 LO  
彦根市本町1-6-25(1階) 水曜定休  
MOP滋賀電王 MOP北陸小太郎

井伊直弼公が青年時代を過ごした「埋れ木(うもれぎのや)」に因んで名付けた彦根銘菓。手間をかけて作り上げた自家製の白餡を求肥で包み抹茶と和三盆糖をまぶしております。

# 彦根銘菓 埋れ木

創業 文化六年  
いと重菓舗

本店 / 彦根市本町一丁目3番37号 TEL.(0749)22-6003  
☎0120-21-6003 営業時間/8:30~18:00 定休日/火曜日  
<http://www.itojyu.com/>  
いと重菓舗はおかげさまで創業200年

地元琵琶湖の天然にこだわった昔ながらの味

琵琶湖天然佃煮

# あかねやす湖魚佃煮店

☎0749-22-0605 彦根市本町2-3-12 9:00~18:00 不定休

自然に恵まれた琵琶湖の魚を早朝に水揚げし、新鮮なうちに佃煮に加工しています。昔ながらの味にこだわり天然の素材が持つ良いところをそのまま生かした味づくりをしています。旬の味を是非一度ご賞味ください。計り売り・折詰・地方発送も承ります。

個室居酒屋 近江や 蔵

上質な近江牛をリーズナブルに召し上がれ

☎0749-27-4484  
彦根市本町1-6-25(1階) 水曜定休 Pあり(夜ののみ)

肉本来の甘みと旨みがたっぷり味わえるお昼の御膳をご用意しております。近江の銘酒を数多く取り揃えており、近江牛・近江鶏・近江米と「近江づくし」をお楽しみいただけます。

おすすめのランチメニュー  
近江牛ローストビーフ丼 ..... 1,680円+税  
近江牛ステーキ重御膳 ..... 2,980円+税  
(サラダ・みそ汁・香物付き)

ポケットパーク

置き畳専門店 Tatatte 畳人(1F)  
☎0749-23-5911

編集工房 (有)北風写真館(2F)  
☎0749-27-2620

飲食 (近江牛) 焼牛 たかし  
☎0749-23-3644

寺院 宗安寺  
☎0749-22-0801  
★木村重成公の首塚はこちらです。

湖魚佃煮 かねやす湖魚佃煮店  
☎0749-22-0605

有滋賀情報企画(2F)  
☎0749-23-2382

銀行 AED  
関西みらい銀行 ATM  
彦根支店 彦根本町出張所

イラストマップ ©KITAKAZE  
※上記の掲載情報は令和3年6月現在のものです。

自動車整備・販売 (有)若林兄弟商会  
☎0749-22-0434

ギャラリー展示・和菓子販売 いと重菓舗 夢京橋店  
☎0749-22-6005

近江の酒類専門店 酒売処 林屋  
☎0749-22-2737

土産屋 時人 彦根店  
☎0749-26-5800

飲食 ここっと珈琲店  
☎0749-22-8761

自動販売機オペレーター 滋賀飲料  
☎0749-22-6499

近江のお酒が勢揃い! 試飲してみつけた お気に入りの地酒。

酒売処 林屋

彦根市本町1-7-37  
☎0749-22-2737 9:30~19:00 火曜定休

彦根のお酒「金亀」をはじめ、地酒・地ビール・地焼酎・地ワインなど近江のお酒が揃う酒屋。なかでも店オリジナルの純米吟醸「夢京橋」が一番のおすすです。試飲もできるので是非お試しを。店備え付けの冷蔵タンクより、地酒の量り売りもしています。

彦根銘菓 五十石

ふっくらと炊き上げた北海道産の小麦と、極上近江米の求肥餅を重ね、米俵の姿をした最中でお楽しみください。

彦根の銘菓を是非ご賞味ください。

全国菓子博覧会総賞受賞

# 菓心 おおすが

ホームページ <http://www.kashin-ohsuga.com>

【夢京橋キャッスルロード店】 滋賀県彦根市本町2丁目2番47号  
営業時間 / 9:30~18:00 TEL.0749-24-1128 [火曜・水曜定休]

創業 文化六年  
いと重菓舗

彦根店 / 彦根市本町1-7-41 TEL.(0749)22-6005  
営業時間 / 10:00~17:30 定休日 / 火曜日  
<http://www.itojyu.com/>  
いと重菓舗はおかげさまで創業200年

彦根銘菓の販売と「いと重菓舗」の歴史や古くから伝わるお菓子の木型などを展示するスペース。彦根をより深く感じてください。